



立派なプレゼンテーションやあいさつの言葉に、一同感動。生徒たちが育てる美しいバラが、仮設校舎に彩りを添えています。



作業しながら授業や部活のこと、将来の夢など、輝く笑顔で話してくれました。上空にはJ-AIR機が。



明日の空へ

より良い社会を
繋げるために、
私たちができること。

JAL
CSR REPORT
vol.30

私たちが大切に考える4つの分野

日本と世界を結ぶ

安全・安心

次世代育成

環境



次世代を担う子どもたちを JALらしい形で応援！

『JAL お仕事講座』 『SUN! SUN! そばプロジェクト』



7月6日には蕎麦の作付け準備として、宮農生とともに総勢75名で石拾い作業を行いました。

JALグループのCSR活動において、大切に考える4つの分野のうちのひとつが「次世代育成」です。次世代を担う子どもたちに夢ある未来を……。そんな思いで子どもたちを応援する、ふたつの取り組みをご紹介します。

取り組み

1

JAL お仕事講座

JALグループは、子どもたちにもっと夢をもち、前向きに未来に向かってほしいと願い、幅広い年齢層に対応したプログラム『JAL そらいく』を行っています。

そのプログラムのひとつで、小学校高学年から高校生までを対象に、航空業界の仕事を紹介する出張講座が、『JAL お仕事講座』です。

現代の子どもたちは、以前に比べて働く大人との接点が少なくなったといわれ、職業観や将来の夢や希望に向けた取り組みに対する意欲を育むために、キャリア教育の必要性が叫ばれています。そこで多くの学校からご要望をいただいたことをきっかけに、2013年にこのプログラムを開始しました。

『JAL お仕事講座』では、学校からのご要請に応じ、パイロット、キャビンアテンダント、整備士、空港グラウンドスタッフなど、現役のJALグループ社員を派遣。仕事の内容ややりがい、仕事に懸ける思い、心掛けていること、この職業を目指したきっかけなどについてお話しするとともに、ご質問にもお答えします。

講座を受講した中学生からは、「飛行機のなかの仕事に興味をもったことはなかったが、お話を聞いて気持ちが変わった」「キャビンアテンダントの仕事はやるのがたくさんあって大変そ

取り組み

2

SUN! SUN!
そばプロジェクト

1885年に創設された日本最古の農業高校、宮城県農業高等学校（通称：宮農）。名取市に校舎を構えていましたが、東日本大震災の津波により、校舎や各種実習棟、圃場、寄宿舎など、あらゆる学校施設や実習設備機器が流失または損壊、という甚大な被害を受けました。現在は、約690名の全校生徒が、宮城県農業大学校内の仮設校舎で学んでいます。

そのような環境にある宮農食品化学科の生徒たちが、地元・名取市沿岸部の被災農地で蕎麦を育て、被災された方々を応援する取り組みとして2013年から進めているのが、『SUN! SUN! そばプロジェクト』。自分たちのスキルを活かして、被災農地の復

興と農業活性化とともに、蕎麦を名取市の新たな名産品に育て、観光客を呼び込むことを目指すプロジェクトです。また、収穫した蕎麦を活用して、仮設住宅で手打ちそばやそばピザを振る舞うイベントを実施。被災された方々にも、とても喜ばれているそうです。

2年前にこの活動を立ち上げたメンバーの一人、食品化学科3年生の齋藤春菜さんは、観光と農業を結びつけ、地元の元気に繋がりたいと言います。

「空から蕎麦の花アートを見るために、県外や海外から飛行機で宮城県に来てほしいと思い、活動してきました。蕎麦を地元の産業として確立するには、皆さまのご協力が必要です。ぜひ宮城県にお越しください。それが名取市の元気にも繋がっていくのです」

JALグループは、2014年よりこのプロジェクトを支援する株式会社クボタよりお声掛けいただき、宮農生

たちとの交流と一部作業のお手伝いという形で、今年から参加しています。6月、7月の被災地での社員研修では、仮設校舎を訪問。地元の復興と活性化を目指して進めるさまざまな取り組みについて、3年生から素晴らしいプレゼンテーションをお聞きしました。また、蕎麦の作付けを行う前の石ころだらけの農地で、2年生と一緒に石拾い作業に汗を流しました。

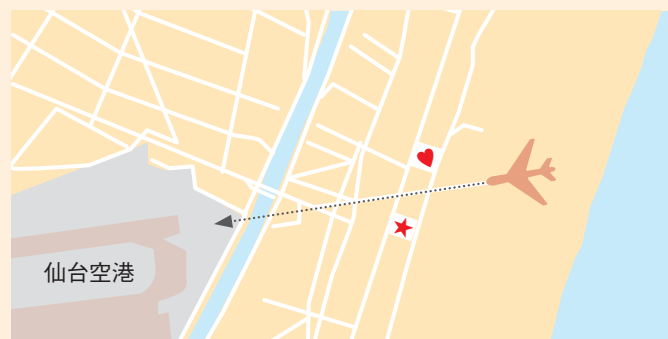
7月の研修に参加したコーポレートブランド推進部の岩下百利は、「宮農生の、宮城の復興を目指すひたむきで前向きな姿勢や目の輝きに、私自身もとても力をいただきました。今後も応援していきたい」と話します。

7月23日の種まきから、宮農生の思いとともに成長する手作りのプロジェクト。JALグループは、地元の復興を願って一生懸命活動する高校生を、私たちらしい形で応援していきます。



仙台空港に向かう便にご搭乗の皆さまへ
蕎麦の花アートが見頃です！

『SUN! SUN! そばプロジェクト』の蕎麦畑は、仙台空港への着陸誘導灯近く。海側から仙台空港に着陸する飛行機の両側に見える2カ所の農地に、白い花と赤い花を咲かせる2種類の蕎麦を作付けし、ハートと星の模様の地上絵（蕎麦の花アート）を描いています。宮農生の思いが詰まった復興のシンボルを、ぜひ上空から探してみてください。



※天候などにより、航路が変更されることがあります。

■『SUN! SUN! そばプロジェクト』に関する詳細は、右記URLでご覧いただけます。 sunsunprpjct.jimdo.com

制服姿で仕事の内容や、やりがいなどをお話します。



JALお仕事講座の詳細、お申し込みは、ホームページをご覧ください。
www.jal.com/ja/csr/soraiku/

うだけど、相手のことを大切に思い、心遣いができる素晴らしい仕事だと思っただけ、などの感想をいただいています。子どもたちが自分の将来について考え、夢や希望を育んでいくお手伝いになるよう、社員参加の下で取り組んでいます。

私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。 www.jal.com/ja/csr/